

令和元年11月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 令和元年11月27日(水) 9時00分から10時45分まで
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委員 渡辺 義弘
委員 安東 雅幸
委員 神田 岳委

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	後藤 徳一
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	瀧澤 愛	社会教育課総括課長代理	安藤 隆文
文化・文化財課課長代理	東 貴則		
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	加藤由梨花

5. 傍聴人 木村 公治

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにし

たいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可することいたします。

(傍聴者 入場)

これより臼杵市教育委員会、令和元年11月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、渡辺委員と神田委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、

- ①報告第16号の「専決処分の承認を求めることについて」
(教職員(小・中学校)の内申について)
- ②第39号議案の「令和元年度補正予算(12月定例市議会)について」
- ③【追加議案】第40号議案の「区域外通学者に対する就学援助の支給について」
- ④「4. 学力向上について」のうち、「全国学力調査について」
- ⑤「6. その他」の「市民会館の使用料について」
- ⑥「6. その他」の「カリキュラム改革について」

の6つを非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

(教育長)

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

1日 ・上北小学校、野津小学校研究発表

上北小学校に参加しました。小学校2年生の算数科の授業を通して、お互いの良さや違いを認め合って、共感的関係を育てるということで取り組んでいました。

2日 ・ふれあい授業

臼杵小学校に訪問しました。垂井委員もいらっしゃいましたが、「学校と保護司会・更生保護女性会との連携」ということで、臼杵小学校の6年生が作文を3年

連続全員提出しており、この授業が実施されたようです。社会を明るくする運動の活動の中で、子どもたちがそれぞれの班に分かれて、色々なことを考えていました。

- 3日 ・文化の日表彰式
地方自治功労：渡邊 博道さん、産業経済功労：廣戸 とよ子さん、郷土芸能功労団体：野津町古流盆踊り保存会の2名、1団体が表彰されました。
- 5日 ・総合教育会議
市長との会議ということで、市長より、今年度取り組んできた「臼杵の未来を創る担い手像」、「臼杵の5つの約束」についての報告がありました。
・歴史資料館運営委員会
次年度の展示計画等の協議をしました。
- 6日 ・学校訪問（～18日）
- 10日 ・3つのきょう育推進フォーラム
毎年、教育の日に合わせて推進フォーラムということで実施しています。今年は、「身体を動かす」ということをテーマに、食育も含めて実施されました。「身体を動かすことが大好き、楽しいと思う臼杵っ子を育てよう」ということで、臼杵出身でオリックスに行かれた、吉良俊則さんに講演をしていただきました。
- 12日 ・定例校長会
予算の関係で、「来年度から会計年度任用職員等の導入もあり非常に厳しい状況である」ということと、「単費で配置している職員の工夫について、提案があれば出してほしい」ということをお話ししました。
・大分県いじめ問題子どもサミット
毎年開催されており、今年が大分教育事務所管内で臼杵の順番になっていたようですが、連絡が遅れて急遽、市浜小学校にお願いをして発表していただきました。その他、臼杵以外に県内5校の発表もありました。市浜小学校は、縦割り班の取り組みを通しての活動を発表しました。佐伯の蒲江翔南小学校が大分県の代表として全国に行くということです。蒲江翔南小学校は目標をはっきりさせており、「いじめをゼロにしよう」という子どもたちの目標を定めて、児童会の委員による授業を入れたり、しっかり発表ができていたと感じました。
- 14日 ・校長会、教頭会代表懇談会
毎年開催していますが、学校施設、教職員などの環境整備について意見交換をしました。今年は特に、教職員の働き方改革について、タイムカード等を導入しているため、それを含めてお話ししました。
- 15日 ・臼津法人会図書贈呈式
毎年ですが、税に関する漫画本とクリアファイルを小学校6年生全員に贈呈いただきました。

- 16日 ・マレガプロジェクト講座（23日、30日）
16日は基礎講座でした。23日は史料講座で、2人の講師からキリシタン関係について、マレガプロジェクトから読み解いたことを発表していただきました。30日は、文化財コンサートの一環で、「臼杵の歴史遺産を活かしたまちづくり講座」ということで、昨年も講演いただいた、奈良大学の千田先生に講座をしていただくこととなっています。
- 17日 ・上北小三世代ふれあい祭り
垂井委員にも出席していただきました。地域等の繋がりを大切にする上北小学校の取組みを、子どもたちの取組みと共に地域へのお礼という形で「ありがとう」という気持ちを込めて開催しています。
- 19日 ・中学生と市長の意見交換会
去年から始まり、去年は西中学校で開催しました。今年は南中ということで、授業参観が終わった後に、学校紹介がありました。その中で、作文発表ということで2年生、3年生1名ずつ県の最優秀賞をいただいている作文の発表がありました。その後、市長への提言ということで、4つの縦割り班でそれぞれ考えたことを発表していただきました。一番関係するところとして、4班の「子育て・教育」で、「中臼杵小学校のリノベーション」ということで、「児童館、あるいは宿泊施設にできないか」という提案をいただきました。良い提案だと感じました。ただ、今、中臼杵小は文化財のセンターになっているため活用できません。しかし、他の施設で活用できるのではないかと感じましたし、市長もそのようなことをおっしゃっていました。子どもたちから活発に質問もあったし、ほぼ全員が発表したようで、良い内容だったと感じています。
- 21日 ・定例教頭会
20日に、給特法の改正が通ったという話があったので、働き方改革の背景ということでお話ししました。いわゆる人口減少が背景にはあるということをお示しました。
- 22日 ・まち、ひと、しごと創生本部幹事会
一期が平成27年～平成31年で、今年から、令和2年～令和6年までの計画について協議しますが、現在来年度に向けて策定中のため、その幹事会がありました。特にこれからの人口をどのように想定して推計していくのかということが、この創生本部の計画の基本となります。ほぼ第一期と変わらずそのままになるだろうという予想です。県が決まらないとこれに合わせられないので、決まり次第計画を作り上げていきます。
- ・社会教育委員会会議
特に、今年の事業で「食育」を通じた研修等について色々な意見をいただきました。

- 23日 ・中学校文化祭
今年は、全校一緒の日がありました。
- 26日 ・市長賞詞授与式
臼杵シルバー野球が全国大会で優勝しましたので、それに対する市長賞詞授与式がありました。
- ・ヒューライツフォーラム実行委員会
10月18日、19日で開催された臼杵大会の総括ということで開催されました。
- 28日 ・文化庁山下調査官市長面談
臼杵城跡を国指定にできないかということで、今動いています。それについて、調査官の意見を聞く予定です。
- ・中学校音楽祭
- 29日 ・小学校音楽祭

以上で説明を終わります。垂井委員から何かあればお願いします。

(垂井委員)

- 1日 ・上北小学校、野津小学校研究発表

野津小学校に行きましたが、国語科における2年生と6年生の授業がありました。6年生の授業で特に感じたのは、文学作品の学習で、学習計画が明らかに児童と共に確認しながら作られているということです。また、その学習計画がきちんと掲示をされています。子どもたち本人、学習が「どこまでいく、何をする」ということが、ほぼ全員わかっている状況の中で、「この時にどのような気持ちだったのか」という問いが、まさに深い学びというか、さらに深める問いとなっていたと思います。実に、学習が児童の為の学習になっていると感じました。そして、「児童が引き受けて」というようなことが、ずっと継続してやってきているということを感じさせる授業でした。それと、言葉が非常に丁寧で、周っている先生たちが「凄いなあ」と言っていました。先生たちがグループを覗いたときも、違和感もなく、キョロキョロもせず、力強さというか素敵な中学1年生になると感じました。

- 2日 ・ふれあい授業

「社会を明るくする運動」の作文について、臼杵市の場合、ほぼ10年間中学校は全校参加です。特に3年生は全ての学校が全員参加で、色々な学校が上位に入っています。今年はずいぶん最優秀賞ということです。かつて、北中の生徒も最優秀賞になっています。「社会を明るくする運動で、臼杵市はどのような取り組みをしているのか。」と言われるくらい、提出率がよくて、その中で臼杵小学校が

3年連続、6年生全員提出ということをしていましたので連携をしました。当日は、ふれあいと重ねたので、保護者もいましたし、教育長、課長、指導主事等も来てくださって、とても良い授業ができたと思います。

今年はまた、最優秀賞になって、朗読のトリを飾るということでした。「おせっかいな母に学ぶ」という題名で、他校から南中へ特認校で入ってきた生徒の発表でした。「毎日泣いて辛くて」というときに、「人間いつかは辛い時があるんよ」と限りなく明るくてあちこちおせっかいをするお母さんが言ってくれたこと、またそんな人だからテレビを見て話しているときに、「なぜ外で泣いている子がいたら、「うちへ行こう、ご飯食べよう」と言って連れて行って、ご飯食べてお腹いっぱいにしてまた帰らせるようにせんのかなあ。」とか、「罪を犯した人がいても、その人に反省するチャンスを与えてあげればきっと素敵な人になるのよ。」と言っていて、母ならこの地域に罪を犯した人が帰ってきたとしても、温かく迎えるだろう。そんな母に刺激されながら、私は南中の一員として、自分で努力をしよう。という内容で、一瞬会場が静まり返って聞き入らせるという内容だったと思います。

17日 ・ 上北小三世代ふれあい祭り

毎年行って毎年感じますが、まだ始まる前に作品を見ているお年寄りの方が、「どこの子だなあ、もう4年になったのか」とか、名前を確認しながら言っていたり、前に出て色々なことをするときには声をかけたりして、本当にふれあい祭りで、温かさが感じられました。地域の人が気軽に児童に声をかける姿、またそれに「うん。」と反応する姿も素敵だと思いました。

19日 ・ 中学生と市長の意見交換会

南中生のほぼ全員が、敬語で会話ができていました。最近特に、上下関係も何も意識がなくて、大人になってもタメ口で話すというのが気になりますが、南中の場合は、質問をするときも、自分たちの考えを発表するときも全て敬語でした。全学年を見ても、ほぼ敬語できちんと堂々と発表できていました。これもすぐできることではありません。日頃から温かい地域の人と先生たちと生徒たちとの中で、相手を大切にする意識が生活の中に根付き始めているのかなということを感じさせるほど、言葉が綺麗でした。

今朝、新聞に載っていた作品も私は読ませていただきましたが、詩の言葉で自分が励まされて、その詩の言葉が自分の生き方の核になっていくというような、非常に言葉が生きていると感じました。感性豊かな作品が出来上がっていました。昨日朗読した2年生の子どもの作品も、転校してきた生徒なのに、すっかり南中色で非常に人に対して親近感があって、「先生今日の発表どうでしたか。おばあちゃんが来てくれました。」というような感じで、子供らしさを持っていながらそれでいて成長していく姿というものを感じて、良いなあと思いました。

「臼杵は良い子どもが育っている」と保護司会の人からも言われて、気持ちのよい一日を過ごしました。

(教育長)

その他、質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

3. 協議事項

(教育長)

これより「次第3. の協議事項」に入りますが、「報告第16号」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

(教育長)

次に、報告第17号に移りたいと思いますが、その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、報告第17号の「専決処分の承認を求めることについて」(臼杵市歴史資料館運営委員会委員の委嘱について)を説明します。

(文化・文化財課長)

報告第17号 専決処分の承認を求めることについて

臼杵市歴史資料館運営委員会委員の委嘱について、下記のとおり専決処分をしたので、臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づき報告し承認を求めるものです。これについては、定例人事異動の4月に中学校の戸高浩二先生(委員)が臼杵市外に異動となったため、新たに首藤剛先生が後任として委員を務めることとなりました。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

報告第17号については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

それでは、これより、議案審議に入ります。

第39号議案に移りたいと思いますが、その前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

4. 学力向上について

(教育長)

次に「臼杵市の未来を考える中学生と市長の意見交換会について」ですが、その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

(教育長)

それでは、「臼杵市の未来を考える中学生と市長の意見交換会について」説明をします。

(学校教育課長)

先程、教育長から報告のあった市長と南中生の意見交換会について説明します。授業参観は3学級で行われました。その後の学校自慢では、「生徒による学校紹介」ということで、「南中ではよかった」とか、「南中炭のアピール」また、垂井先生からもありましたが、「社会を明るくする運動最優秀賞の作文発表」がありました。

「市長への提言」としては「山間部の交通手段」、「南中校区に道の駅を作って、南中炭を売れないか」、「市報に長寿のための減塩レシピを載せられないか」、等がありました。減塩レシピについては、実際に載せてくれるという話で生徒たちがとても喜んでいました。

意見交換では、テーマごとにグループ協議を行って、南中生の臼杵の未来を考える頼もしい姿を見ることができました。垂井先生も言われていたように、姿勢がとてもよくて全員がその協議に真っ直ぐ向かい合っている様子でした。その後、振り返りをし、市長、教育長を囲んでの給食等もありました。

振り返りとしては、「市長さんが熱心に答えてくれたのでとても嬉しかった。」という1年生の感想、2年生では「みんなが笑いに包まれる場面もあって、このような機会を与えていただけて感謝しています。」という感想、3年生からは「私たち自身が行動しなければ」という感想が出されていました。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

南中炭は、新商品が開発されて、竹宵の時にすごく売れたと聞きました。玄関に飾っておくような可愛いものがありました。今後、靴やタンスに入れる臭い消しのための商品も考えるとのこと。とても良いことだと思いました。

(安東委員)

この取組みは、去年から「子ども市議会」をこの形にということで始めました。教育長は、ずっと学校現場を見てくださっていますが、市長が学校現場に入るということの意味が私はとてもあると思っています。なので是非続けていただければと思います。できれば全部の学校を周ることができたらありがたいです。

(教育長)

できるだけ続けられるように、お願いしてきたいと思います。

(垂井委員)

去年西中でしたときは、市内の社会科の先生が来ていたようですが今年は来てなかったようにあります。

(学校教育課長)

社会の先生が来てなかったことが、やはり反省の1つに出ました。

(垂井委員)

やはりせつかくするなら、見て参考にして学んでいくことが大事だと思います。

(学校教育課長)

大きな反省として、来年度に繋げていきたいと思っています。

(安東委員)

これは、子ども市議会のある夏休みの段階では、中学校はまだ議会の勉強をしていないということもあって、去年色々とお話をして学校教育課が動いてくれた話です。学校としてはちょうど教育課程とも合致していて、今までのことよりも教育課程に則った発表ができるということ、プレゼンの能力がついていくという意味では、すごく学校のためになってい

るという感じがしました。

5. 教育予算等について

(教育長)

これより「次第5. 教育予算について」に入ります。今回、特に議題は設定してありませんが、委員の皆様から、教育予算に関して何か要望等ございませんか。

(渡辺委員)

昨年、学校の草刈りのお願いをしたら早速一部の学校をしていただいたので、学校からも感謝の声が届いています。

学校訪問したときに、特に北側では、階段等暗いところが結構ありました。そのようなところを少し確認しながら、もし予算がつけば蛍光灯をつけてくれたらありがたいです。

それから、引き続き何校かずつでも草木の剪定もしていただければ、学校としても嬉しいと思います。

(教育次長兼教育総務課長)

ご期待に沿えるように、尽力してまいりたいと思います。

6. その他

(教育長)

これより、「6. その他」のに入りますが、その前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

これをもちまして、11月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
